

この度は、ステンレスマフラーをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、当製品を車両に組付ける前に行う作業、組付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取付の際には本書に従って作業を進めていただくようお願いいたします。また作業終了時には本書を必ずお客様にお渡しください。

当製品の装着にあたっては、以下の注意事項を厳守してください。

### ⚠ 注意事項(作業の方へ)

- ① マフラーの交換は、設備の整った自動車整備工場などで、専門の教育を受けた整備士が行うべき危険な作業です。専門外のお客様が作業するとケガや火傷の恐れがあり大変危険です。取付け作業は専門の整備工場などに依頼してください。
- ② エンジンが動いているとき、またはエンジンを停止した直後は、マフラーは非常に高温になっており、触れると火傷する恐れがあります。必ずマフラーが冷えたのを確認してから取付け作業を行ってください。また、火傷を防ぐため作業中は耐熱性のある手袋を必ず着用してください。
- ③ 排気関係の部品は錆び付いており、ボルトやナットが緩みにくいことがあります。無理に緩めようとするとボルトが折れたり、ナットが破損したりする可能性があります。事前にスプレー式潤滑剤などを塗布するなど、適切な工具を使用して無理のない取付け作業を行ってください。
- ④ マフラー交換は自動車の床下で交換を行う作業のため、持ち上げた自動車が不安定な状態で作業すると大変危険です。必ず自動車作業専用のリフトを使用して安全に作業を行ってください。やむを得ずガレージジャッキを使用する場合は、地面が沈まない硬い水平な場所で、リジトラックを併用して作業を行ってください。なお、車載ジャッキのみでの作業は大変危険ですので、絶対にお止めください。
- ⑤ 取付け時には、各部のクリアランスが保てる様に注意してください。特にブレーキ関係、燃料関係、駆動系関係及び電気関係の配線には細心の注意を払ってください。
- ⑥ 純正マフラーハンガーに割れ、ひびなどの劣化が生じていた場合は、落下防止のため必ず新品ハンガーに交換してください。
- ⑦ 本製品は、テール部外径が純正マフラーに対して大きくなっています。そのため、車両の個体差により、テール部分がバンパーなどに干渉する場合があります。その場合にはエキゾーストマニホールド、ミドルパイプ、触媒などマフラー前側の調整により取付け位置を修正することができます。また、純正エキゾーストマニホールドやミドルパイプが走行中に縁石などへの接触により変形しているような場合についても、テール部がバンパーなどに干渉し位置が出ない場合があります。

### ⚠ 注意事項(使用者の方へ)

- ① エンジンが動いているとき、またはエンジンを停止した直後は、マフラーは非常に高温になっております。特に後端のテールパイプ部分は、自動車の外に露出して接触しやすいので十分に注意してください。触れると火傷する危険があります。お子様には特に注意してください。また、トランクから荷物を出し入れする時、衣類がテールパイプに接触すると、焦げたり溶けたりすることがあります。駐停車する際にも周囲に十分気を付けて下さい。
- ② マフラーを交換すると、排気効率が改善され自動車の性能が向上することがあります。ブレーキの整備を完璧にして、自動車の制動能力を確認してから、安全に運転してください。
- ③ 弊社マフラーは、自動車の標準地上高またはそれに近い状態で路面のクリアランスが確保されるように設計されています。車高を極端に下げる改造を行うと、路面や駐車場などの突起に接触して、マフラーの破損や接触物を損傷することがあります。また、マフラーの破損部分から排気ガスが漏れる可能性があるため、著しく車高を下げないでください。
- ④ マフラー取付け後、約100km走行後、各部の干渉や接続状態を点検しネジ部の増し締めを行ってください。走行中異常が発生したと思われる場合は、直ちに車を安全な場所に停車し、異常箇所を点検してください。
- ⑤ 弊社マフラーは耐久性を考慮して厳選された材料を使用し厳重な品質管理のもと製造されていますが、自動車の使用条件が悪いと早く腐食して穴があくことがあります。排気ガス漏れの原因にもなりますので十分にご注意ください。
- ⑥ マフラーは消耗品です。正しい使用方法を守り、経年変化などにより本来の性能が損なわれた場合には速やかに交換してください。
- ⑦ ジムカーナやサーキット走行等の特殊な用途でのご使用は、製品の耐久期間が著しく低下する恐れがあります。予めご了承ください。

### ⚠ ステンレス材の取扱いについて

- ① 本製品はオールステンレス素材ハフ仕上製品となっており、きれいな状態を保つ為には日ごろのメンテナンスが必要です。
- ② ステンレス材の色焼けは素材の特性ですので、あらかじめご了承ください。
- ③ 取付け作業中および使用中に油汚れや手あかなどが付着するとムラ焼けの原因となります。付着した場合は柔らかい布などを使用し綺麗にしておいてください。
- ④ 汚れがひどい場合やムラ焼けが出たときは、早めに金属用コンパウンド(細目)で磨いてください。